

アステナホールディングス株式会社に対するシンジケートローンの組成

静岡銀行（頭取 八木 稔）は、「富士山・アルプス アライアンス」における取り組みの一環として、アステナホールディングス株式会社（代表取締役社長 瀬戸口 智）に対し、静岡銀行がアレンジャーを務めるシンジケートローンを組成しましたので、その概要をご案内します。

本件は、医薬品・化学品分野を中心に事業を展開する同社グループの事業基盤の強化および成長投資を金融面から支援するものであり、「富士山・アルプス アライアンス」による広域連携の枠組みを活かした協調融資により、地域産業の発展に寄与する取り組みです。

今後も、「富士山・アルプス アライアンス」のネットワークを活かしながら、地域企業の成長投資や事業基盤の強化を金融面から支援し、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

1. シンジケートローンの概要

実行日	3月31日（火）		
契約先	名 称	アステナホールディングス株式会社	
	所 在 地	東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号	
	設立年月日	1941年9月20日	
	資 本 金	46億29百万円	
資金使途	事業基盤強化および成長投資資金等		
参加金融機関	株式会社静岡銀行 株式会社山梨中央銀行 株式会社八十二長野銀行		

2. アステナホールディングス株式会社について

- アステナホールディングス株式会社は、「ファインケミカル事業」「HBC・食品事業」「医薬事業」「化学品事業」「ソーシャルインパクト事業」の5つの事業を展開しており、傘下の各事業会社が保有する高い研究開発力や技術力、幅広いバリューチェーンを活かし、日々の暮らしに密接に関わる多様な製品・サービスを提供しています。
- 近年、医薬品開発の高コスト・高度化を背景に、製薬企業における研究開発や製造工程の外部委託ニーズが高まるなか、同社グループは、医薬品開発・製造受託事業や化粧品原料の供給などを通じて、医療・ヘルスケア分野の発展に貢献しています。
- また、同社グループは静岡県および長野県等に拠点を有しており、地域の産業基盤を支える企業として事業活動を行っています。